

第17回 若手砂防・土木技術者のための奥飛騨研修会

公益社団法人 砂防学会 事業部会

近年、河川や砂防に関する技術的課題に対して、より解像度の高い地形計測、より計算精度の高い河床変動計算、家屋や道路考慮した詳細な土砂氾濫計算、流域スケールの土砂動態モデルなどが開発され、検討の幅が広がり、より高度な砂防事業が展開できるようになってきました。しかし、これらの技術の適切な活用は、現地の状況や問題を見る目を養ってはじめて実行できます。そこで、砂防学会では、山地流域における土砂動態やそのモニタリング、または多種多様な砂防施設の機能と問題点などに関する現地研修会を企画しました。

主催：(公社) 砂防学会

共催：京都大学 防災研究所 流域災害研究センター 穂高砂防観測所

協力：国土交通省北陸地方整備局 神通川水系砂防事務所

NPO 法人 山の自然文化研究センター

開催日時：2023年10月4日(水)～10月6日(金)

場所：中尾公民館(京都大学防災研究所 穂高砂防観測所近く)、
高原川流域(岐阜県高山市奥飛騨温泉郷)

定員：50名

内容：

10月4日(水)

15:00 集合

15:00～16:30 講演「山地溪流の流砂現象」(NPO 法人 山の自然文化研究センター理事・砂防・地すべり技術センター研究顧問・京都大学名誉教授 藤田正治)

16:30～17:00 課題 山地河川の土砂移動速度の予測(流量、勾配、排砂の粒径の情報をもとに濁り、流砂の伝搬について予想する)

10月5日(木)

9:00～12:00 ヒル谷堰堤排砂および流砂の観察

12:00～13:00 昼食

13:00～16:00 神通川砂防事務所管内の砂防施設見学

17:00～20:00 意見交換会@穂高砂防観測所

10月6日(金)

9:00～11:00 砂防分野の仕事紹介(学生対象)

穂高砂防観測所施設紹介(社会人希望者対象)

11:00 解散

参加申し込み先：

下の申し込み先メールアドレスまで、「氏名、所属、生年月日*、住所(所属先住所でも可)*、宿泊希望日」をご連絡ください。(基本的に主催者で宿の手配を行います。希望がありましたら申し込み時にご連絡ください) *傷害保険一括加入のため

準備の都合上、申し込み期限を9月22日(金)とさせていただきます。応募多数の場合は、これまでの研修会への参加経験の有無や所属先などを勘案して主催者側で参加者を決定させていただきます。あらかじめご了承ください。

京都大学防砂研究所 穂高砂防観測所

宮田 秀介

E-mail: miyata.shusuke.2e@kyoto-u.ac.jp TEL: 0578-89-2154

費用：

参加費 1000 円（テキスト代として）

昼食代，保険料，宿泊費 実費（社会人：約 12,000 円/泊，学生：約 8,000 円/泊）

*本研修会は建設系 CPD の対象となる予定です。

*参加をお申込みの方には交通手段、宿泊についてお知らせいたします。